

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2016年第44号(週報)

2016年第44週(10月31日~11月6日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— RSウイルス感染症 : 患者報告数は減少。過去5年間の同時期に比べ多い! —

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.55人(前週:1.94人)と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べ多い状況です。

保健所別では、和歌山市保健所管内が2.56人(前週:3.22人)と最も多くなっています。

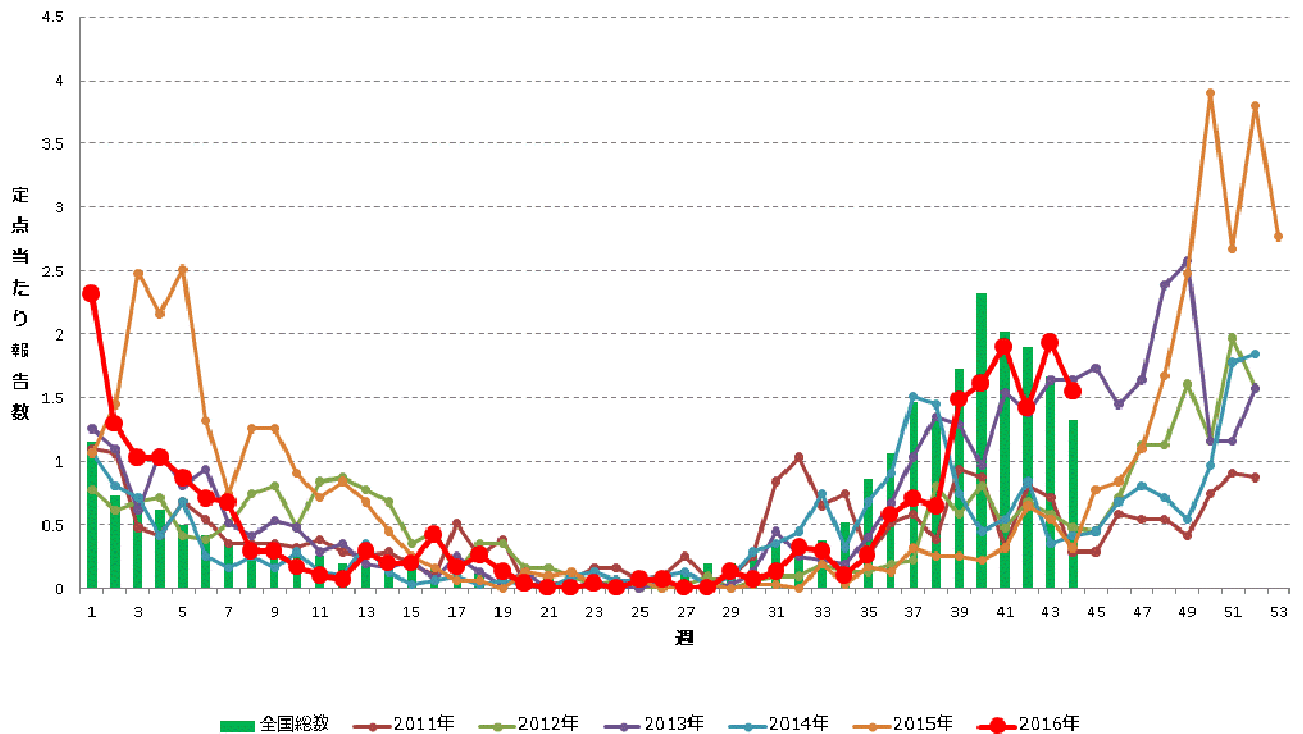
全国の定点当たり患者報告数は1.33人(前週:1.67人)と減少していますが、例年冬から春にかけて流行がみられるため今後の動向に注意してください。

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、感染予防対策としては手洗い、うがいが基本です。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら:(国立感染症研究所HP)

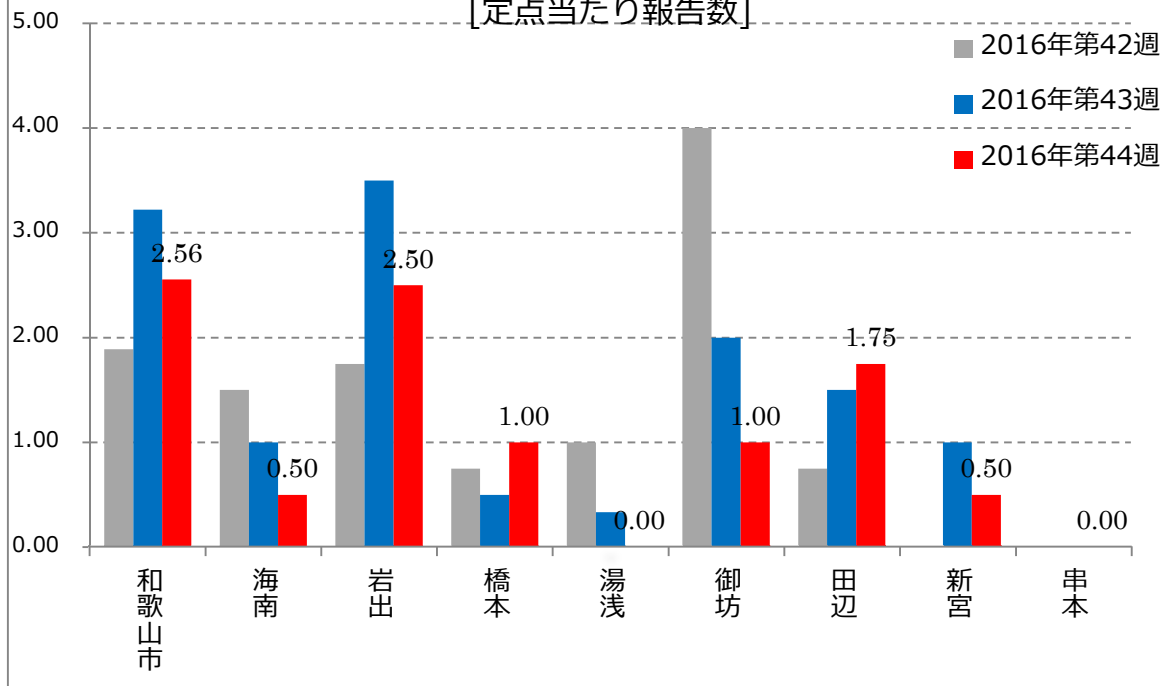
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html>

RSウイルス感染症(和歌山県感染症情報センター)
定点当たり報告数グラフ



R Sウイルス感染症-管内集計区分別

[定点当たり報告数]



－流行性耳下腺炎：橋本保健所管内で注意報レベル！－

流行性耳下腺炎は「おたふくかぜ」ともよばれ、主に2～5歳の子どもがかかる感染症です。ムンプスウイルスが原因で、2～3週間の潜伏期間を経て耳下腺の腫脹・疼痛、発熱などの症状がみられます。

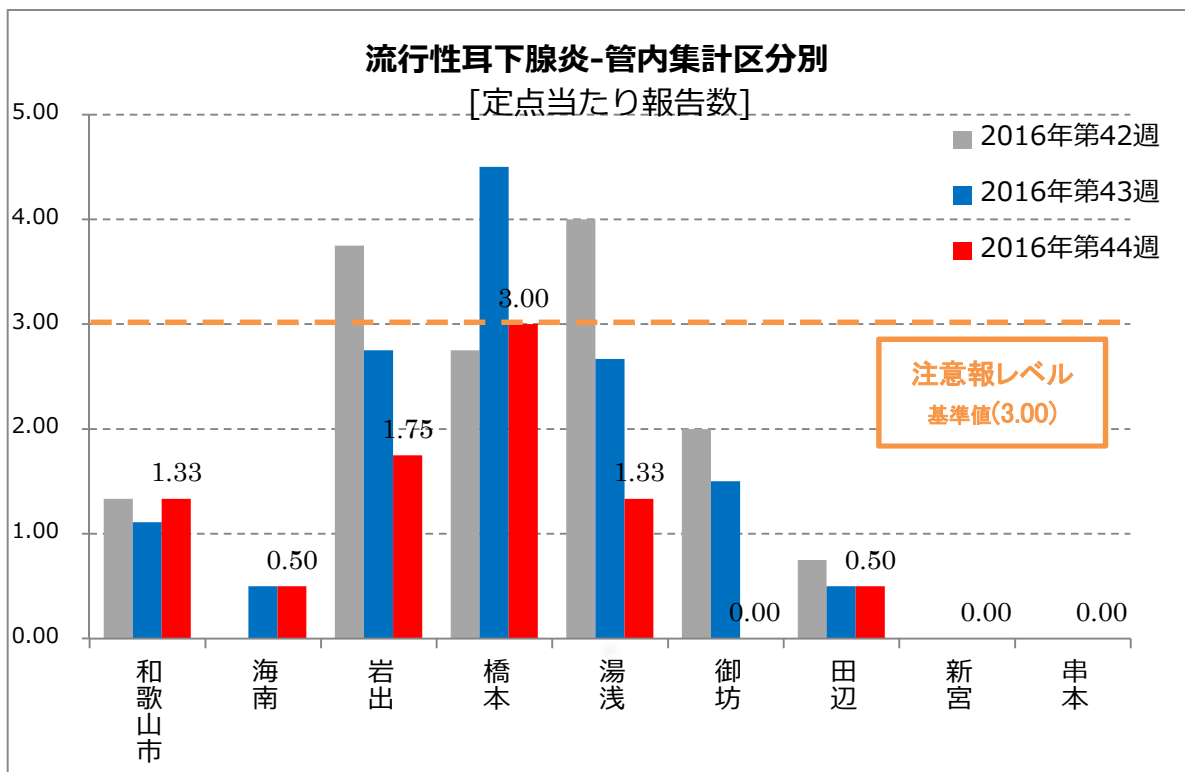
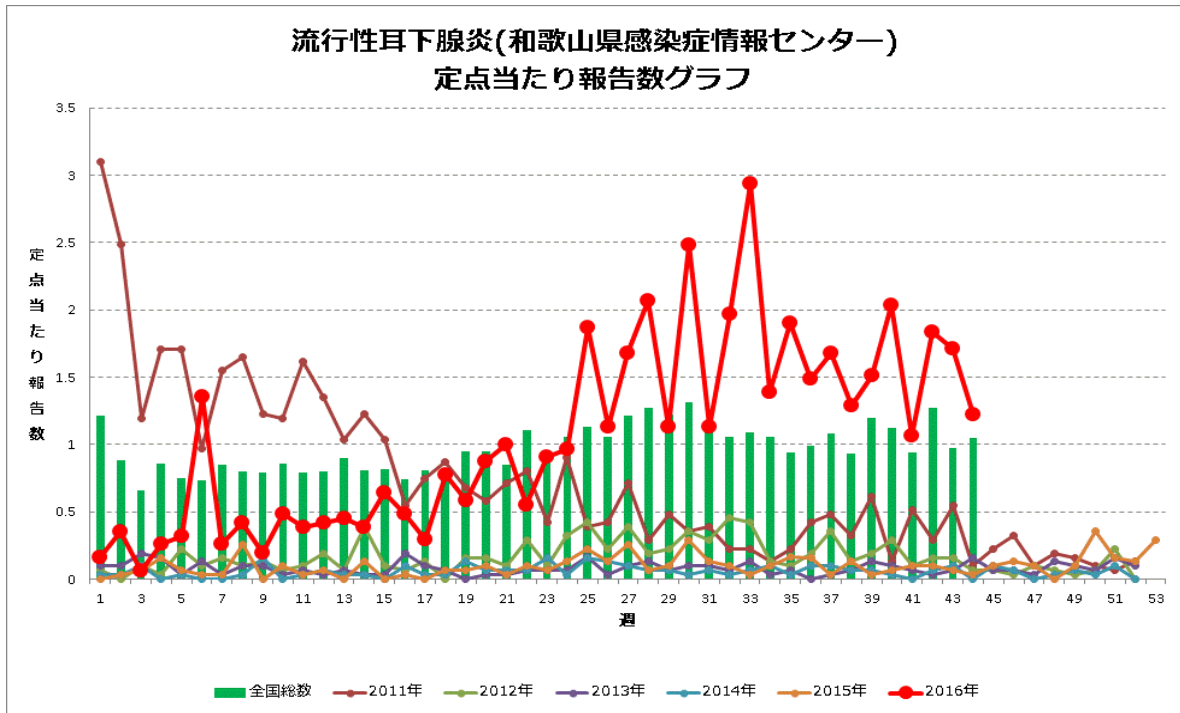
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.23人（前週：1.71人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況となっています。

橋本保健所管内で注意報レベルとなっています。

全国の定点当たり患者報告数は1.05人（前週：0.97人）と増加しています。

主な感染経路は、上気道を介した飛沫感染や接触感染であり、感染力が強いです。感染予防にはワクチンが有効です。

流行性耳下腺炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>



◆◆ これから注意が必要な感染症 ◆◆

一 感染性胃腸炎：過去5年間の同時期に比べやや多い状況。一

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

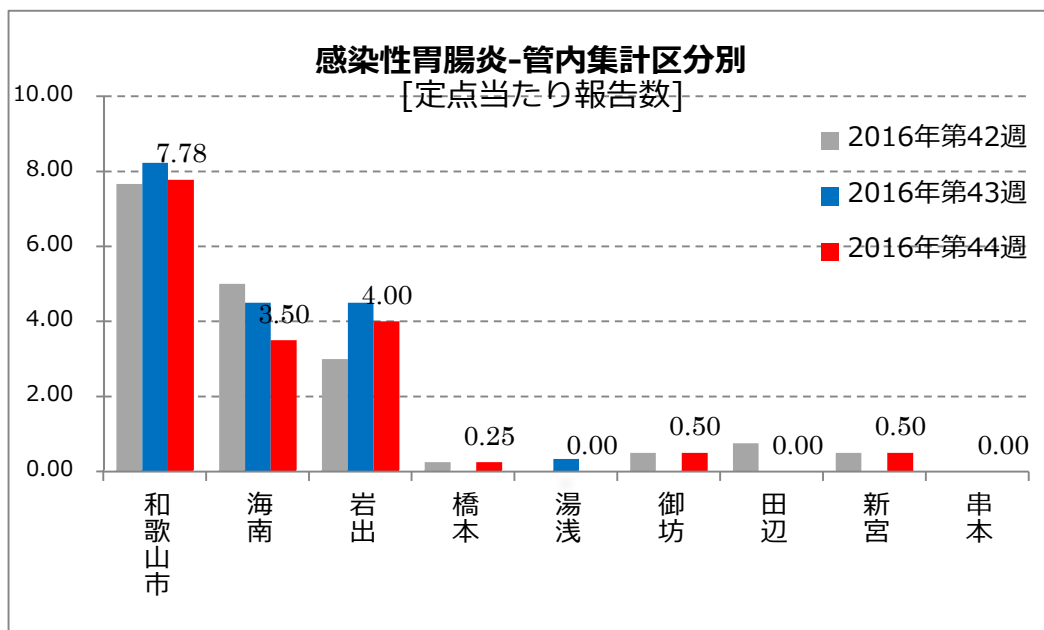
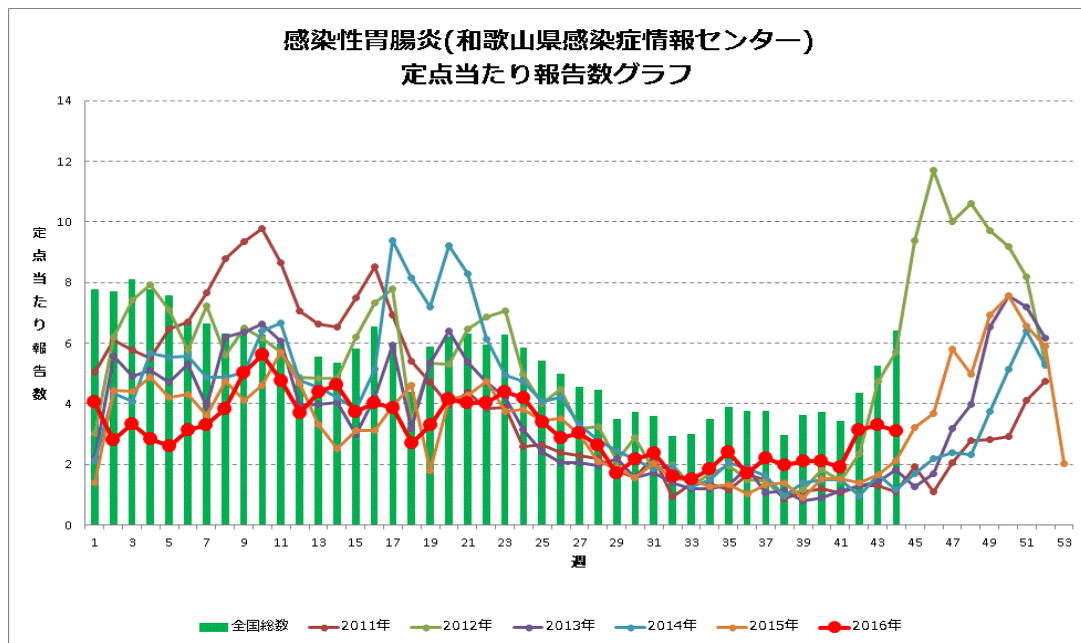
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は3.10人（前週：3.29人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べやや多い状況です。今後患者報告数が増加していくことも予想されますので注意してください。

保健所別にみると、和歌山市保健所管内が7.78人（前週：8.22人）と最も多く、次に岩出保健所管内が4.00人（前週：4.50人）となっています。

全国的には患者報告数は6.41人（前週：5.26人）と増加しています。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>



－ **マイコプラズマ肺炎：今後の動向に注意！** －

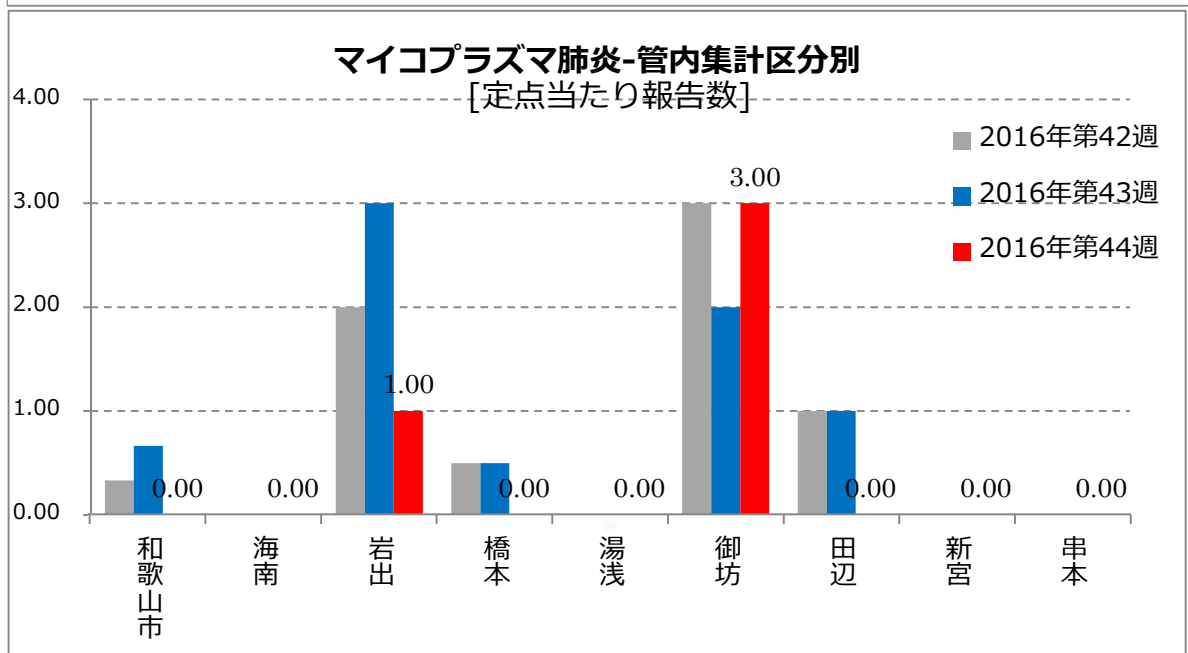
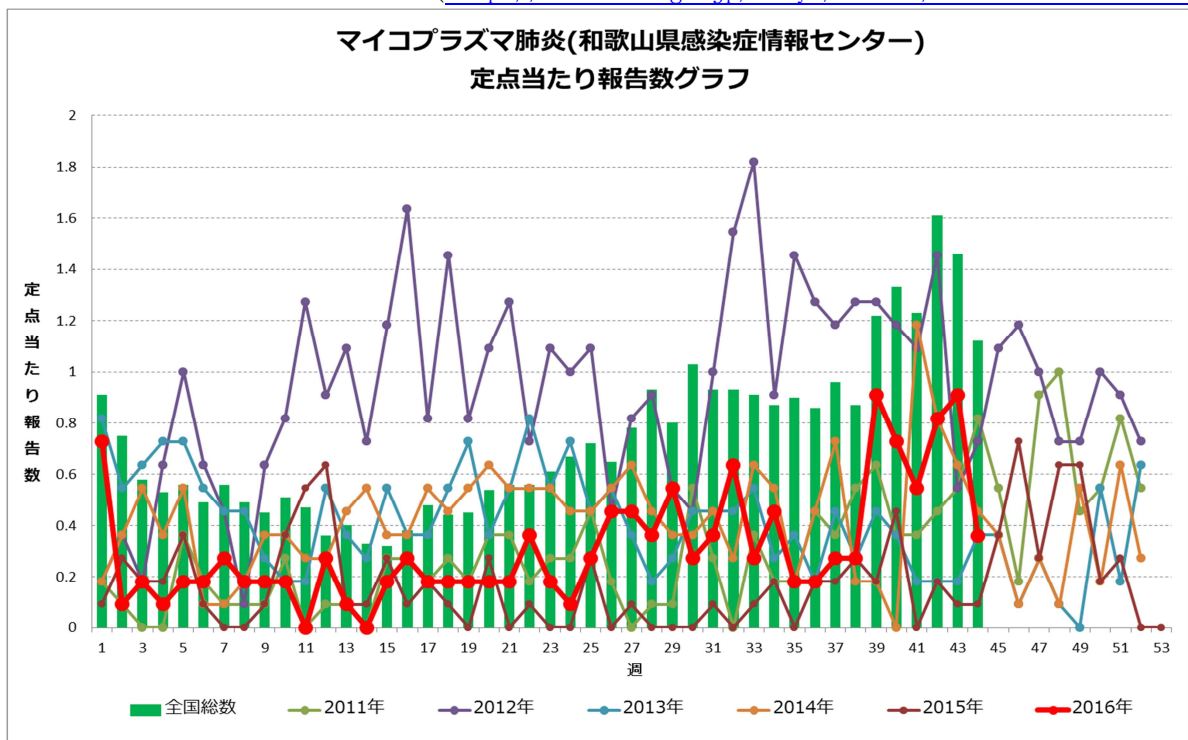
マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症で、発熱や全身倦怠感（だるさ）、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。例年、患者として報告されるもののうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられます。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は0.36人（前週：0.91人）と減少しました。保健所別にみると、御坊保健所管内が3.00人と最も多くなっています。

全国的には患者報告数は1.12人（前週：1.46人）と減少しています。今後患者報告数が増加していくことも予想されますので注意してください。

予防としては、普段から、手洗いをするのが大切です。また、患者の咳から感染しますので、咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど咳エチケットを守ってください。

マイコプラズマ肺炎に関するQ&Aはこちら：(厚生労働省HP)
[\(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou30/\)](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou30/)



※海南、串本は定点なし

定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 2名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：報告はありませんでした。

(2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	162
腸管出血性大腸菌感染症	13
重症熱性血小板減少症候群	5
デング熱	1
日本紅斑熱	17
日本脳炎	1
レジオネラ症	11
レプトスピラ症	2
アメーバ赤痢	5
ウイルス性肝炎	2
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4
急性脳炎	3
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
後天性免疫不全症候群	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
侵襲性肺炎球菌感染症	9
水痘（入院例）	2
梅毒	14
播種性クリプトコックス症	2
破傷風	1
麻しん	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

ありません。

注意報レベル

流行性耳下腺炎（橋本健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	12	-	1	3	-	-	1	-	-	2	1	-	2	-	-	-	1	-	-	1	-
	定当	0.24	-	0.02	0.06	-	-	0.02	-	-	0.04	0.02	-	0.04	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	48	9	10	16	5	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	1.55	0.29	0.32	0.52	0.16	0.13	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	6	-	1	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.19	-	0.03	0.06	0.06	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	-	-	-	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告	96	-	5	16	9	12	11	16	7	8	1	3	8	-	-
	定当	3.1	-	0.16	0.52	0.29	0.39	0.35	0.52	0.23	0.26	0.03	0.1	0.26	-	-
水痘	報告	12	-	-	3	1	1	1	1	-	1	1	-	3	-	-
	定当	0.39	-	-	0.1	0.03	0.03	0.03	0.03	-	0.03	0.03	-	0.1	-	-
手足口病	報告	6	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	定当	0.19	-	-	0.13	0.03	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-
伝染性紅斑	報告	5	-	-	1	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.16	-	-	0.03	-	0.06	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	23	-	8	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.74	-	0.26	0.45	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	3	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.1	-	-	-	-	0.06	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	38	-	-	1	1	4	1	5	7	5	3	4	7	-	-
	定当	1.23	-	-	0.03	0.03	0.13	0.03	0.16	0.23	0.16	0.1	0.13	0.23	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-: 患者報告がない、…: 保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	2	1	2	5	1	1	-	-	-
	定当	0.13	0.33	0.33	0.83	0.2	0.33	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	23	1	10	4	-	2	7	1	-
	定当	2.56	0.5	2.5	1	-	1	1.75	0.5	-
咽頭結膜熱	報告	5	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.56	-	-	-	-	-	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	0.25	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告	70	7	16	1	-	1	-	1	-
	定当	7.78	3.5	4	0.25	-	0.5	-	0.5	-
水痘	報告	7	1	-	3	-	-	-	1	-
	定当	0.78	0.5	-	0.75	-	-	-	0.5	-
手足口病	報告	5	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.56	-	0.25	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	2	-	-	1	-	-	-	2	-
	定当	0.22	-	-	0.25	-	-	-	1	-
突発性発しん	報告	6	3	6	2	4	-	2	-	-
	定当	0.67	1.5	1.5	0.5	1.33	-	0.5	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	2	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	0.5	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	12	1	7	12	4	-	2	-	-
	定当	1.33	0.5	1.75	3	1.33	-	0.5	-	-
急性出血性結膜炎	報告	1	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.33	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	1	-	-	3	-	-	…
	定当	-	…	1	-	-	3	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

和歌山県感染症情報（WIDR）2016年第44号

発行日：平成28年11月10日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。